

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城広瀬総合運動場
2	指定管理者	TM共同事業体
3	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 平成30年度 130,242人 (前年度比90.6%) 平成29年度 143,722人 平成28年度 155,037人 平成27年度 158,520人</p> <p>《事業》施設運営維持管理業務、水泳教室、陸上スポーツ教室等の各種教室事業、教室型運動イベント、震災復興支援事業、泳力検定会、4施設合同水泳記録会、地域指導者講習会、地域へ向けたアウトリーチ指導、町内会等の地域と連携した運動イベント、小学生スポーツ振興事業等の仙台市民の幅広い年代に対応した事業を実施。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 70,419千円 (70,228千円) ・ その他市が負担した費用 21,565千円 (6,720千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 18,267千円 (20,308千円) ・ その他収入 1,835千円 (1,834千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 平成30年10月1日～21日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。 また、スポーツ教室の参加者数は他施設に比べて非常に多くなっており、この点でも、スポーツ実施率の向上に貢献している。また、葛岡温水プール、水の森温水プール、鶴ヶ谷温水プール、宮城広瀬総合運動場温水プールの4施設合同のスタンプラリー事業は、小学生の利用促進に寄与している。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、事業共同体の強みを活かし、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。施設・設備の情報収集・分析も行い、その報告も定期的実施され、適正に管理されている。 また、利用者に対するごみ分別の呼びかけや職員による資源の再利用等、新・仙台市環境行動計画に基づく取り組みが行われている。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成30年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。利用者からの要望や苦情への対応も、積極的かつ迅速に行われ、職員全体でサービス向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。 また、同種施設に比べて、スポーツ教室に非常に多くの方が参加しており、教室の内容も、初心者から中上級者まで、幼児から高齢の方までを広く対象としている。TM共同事業体が指定管理している他施設と連携してスポーツ選手との交流や水中アスレティック体験館の開催など、バラエティ豊かな企画で、市民のスポーツ振興に寄与しており、他施設の模範となる取り組みと言える。	5/4

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
なし	なし		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（TM共同事業体）による自己評価》	
<p>仙台市スポーツ公共施設指定管理者として、効率だけを最優先することにより、公共サービスが著しく低下しないよう、地域の雇用を守り、地域社会を支え、地域に安全と安心を提供できるように公共サービス基本法に準拠した考えの下、公共性をしっかりと担保し、市民に対しての質の高いサービスを提供するよう施設運営を行いました。今年度も維持管理業務、運営業務ともに指定管理者構成団体のノウハウを導入し、市民サービスの向上に努めました。</p> <p>維持管理においては、維持管理団体選任スタッフによる施設、設備の定期的な点検を行い、不具合の早期発見、早期対応を実施することで、リスク軽減に努め、安全・安心な施設を維持しました。運営においては、各種研修を強化し、更なるスタッフ教育を行うことで市民サービスの向上に努めました。地域に対しては、近隣町内会との連携、近隣小学校への水泳講師派遣や市内30校の小学校対象の夏休み期間中を活用したスタンプラリーカードを発行し、運動のきっかけ作りを行いました。自主事業においては、水泳教室、水中運動教室、多様な陸上スポーツ教室を開催し、多くの参加を頂きました。また、平成22年度から開催している震災復興支援事業として、落語家:立川らく朝さんを招いての「健康高座」を開催しました。健康+笑という新しい試みを実施し、多くの方にご来場頂き、喜んで頂けました。その他多くの市民参加イベントを実施し、運営団体のノウハウをフルに活かした市民サービスを提供しました。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、独自のビルマネジメントシステムの活用により効率的かつ一体的な管理が着実に実行されており、利用者の安心・安全に配慮した利用環境の整備を行っている。</p> <p>サービスの質の向上については、定期制・通年制教室ともに、市民の年齢や生活スタイル、目的に応じたスポーツ教室を多様に開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。</p> <p>また、他の同種施設に比べて、スポーツ教室に非常に多くの方が参加しており、教室の内容も、初心者から中上級者まで、幼児から高齢の方までを広く対象としている。TM共同事業体が指定管理している他施設と連携してスポーツ選手との交流や水中アスレティック体験館の開催など、バラエティ豊かな企画で、市民のスポーツ振興に寄与しており、他施設の模範となる取り組みと言える。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課